

薬師池かいぼり 生きもの調査を行いました



かいぼりの目的

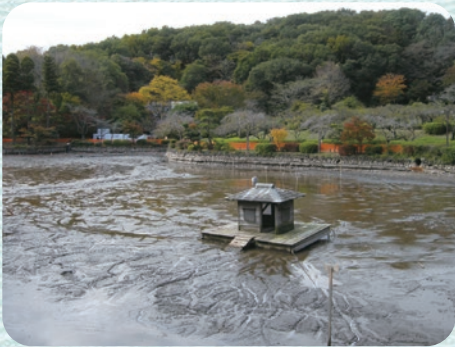
池の生物の排出物や底にたまった泥により悪化した薬師池の水質を改善するため、2015年に改修工事を行いました。その一環として「かいぼり」を行いました。

かいぼりとは、元々は農業用のため池の水質改善のために、農閑期に池干して泥や魚をとる作業のことを言います。漢字では「掻い掘り」と書きます。近年では公園池でもよく行われており、薬師池でも

①水質改善

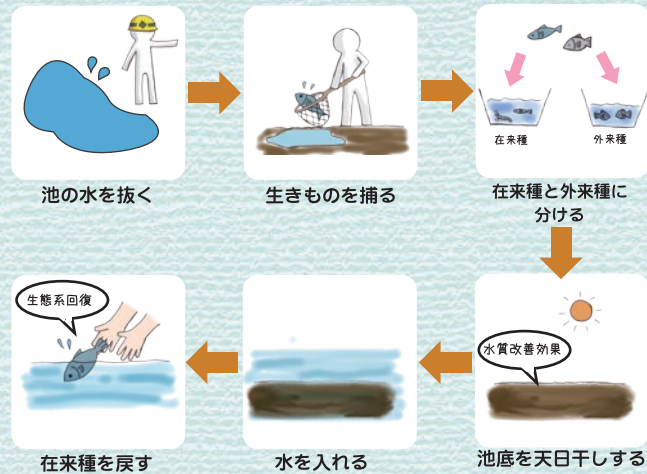
②池の生態系回復のため、外来生物を駆除

を目的に行いました。



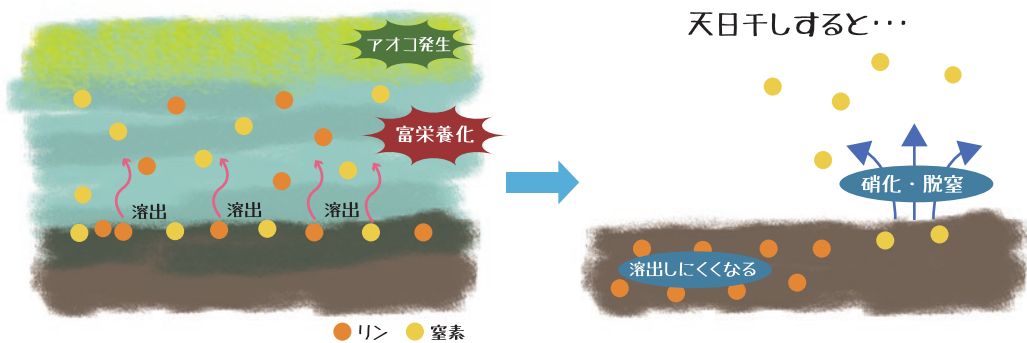
水の抜けた薬師池

かいぼり ~作業の流れ~



かいぼりの効果

夏に池の水が緑色に濁ってしまうのは、植物プランクトンが大量発生してしまうからです。原因は窒素とリン。池底を干して空気にさらすと、泥中の窒素が硝化・脱窒反応により窒素ガスとして空気中へ発散され、リンは水中に溶け出しにくい状態になります。その結果、水中の栄養分が少なくなって植物プランクトンが増殖しにくくなり、透明度が保たれます。



「薬師池かいぼり 生きもの調査」大盛況でした

2015年11月3日、「薬師池かいぼり 生きもの調査」を行いました。一般公募により集まった50名の親子が池の中に入って生きものを捕獲しました。どろどろになりながら、たくさんの生きものを捕まえていました。捕獲した生きものは在来種と外来種に仕分け、在来種はいけすで保護、生態系に影響を与える外来種は池から取り除きました。



多くの来園者が見守る中、いざ池の中へ！



初めて入る水のない池の中、泥と悪戦苦闘しながら頑張りました！



すぐ近くにコイが！



捕れた魚の計測をしているところ



捕れた生きものは水槽で展示し、外来生物問題について解説しました

魚捕りの後は...

浚渫工事を行い、池底に堆積している有機物を多く含んだ泥を取り除きます。

生まれ変わる薬師池をどうぞお楽しみに！



浚渫作業の様子